



東京グリーン

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内

Chartered 1973



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2024.3 >

BULLETIN

2023年7月～2024年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 西澤 紘一
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 柳原みずき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」
東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」
クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

3月 希望の春

わたしは、あなたたちのために立てた計画を良く心に留めている、と主は言われる。それは平和の計画であって、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。(エレミヤ書 29 章 11 節)

< 神は私たちの計画をすべてご存じて、平和をもたらし、希望を与えるものであると励ましてください。 >

2024年3月例会

地域密着・少人数によるCS活動を考える

佐野 守

日時:2024年3月21日(木) 18:30~20:30

場所:東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

★受付:村杉メン、進行:柿沼メン

開会点鐘	樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条	全 員
聖句・お祈り	西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介	樋口 会長
「日本語体験発表会」(にほんご学院卒業生による)	柳原 主事
各種報告	樋口 会長
YMCA 報告	柳原 主事
ハッピーバースデー	該当者なし
閉会点鐘	樋口 会長

私は障害者スポーツの地域活動の経験を元に、より地域密着型、少人数によるCS活動により、地域社会の発展に貢献していきたいと思えます。

1. 地域密着
CS活動は地域のニーズに対応するものでなければなりません。まずは自分たちが住む地域のニーズを正確に把握することが重要です。障害者支援、高齢者支援、子供たちの支援など、関心のある分野を特定し、地域の方々との対話を重ねることで、具体的な活動内容を明確にしていきたいと思えます。
2. 既存の活動組織との連携
新たな活動組織を立ち上げることは時間と労力がかかります。そのため、まずは既存の活動組織や地域のネットワークに参加し、自分たちの得意分野や興味を活かし既存の活動に参加していきたいです。
3. 少人数での活動
少人数で地道に活動を続けることで、地域のニーズにより柔軟に対応できます。

【例会出席率】 在籍:15名 1月出席率8/13 62%

出席:2月 (メン8名、メネット0名) 計8名

【ニコニコ】 ¥7,000

以上

◆2024年2月例会報告（樋口）

日時：2024年2月20日(水) 18:30～20:30

場所：東京 YMCA 東陽町コミュニティーセンター

出席者：青木、柿沼、西本夫妻、根本、村杉、柳原、樋口各メン(司会進行：青木メン、受付：柿沼メン)



▲楽しかった2月例会

- ・開会点鐘、つづいてワイズソング、ワイズの信条、聖句の後、食事会となりました。
- ・食事会の後は、各種報告、樋口メンによる卓話「ビートルズとブリティッシュ・インヴェージョン」、そして柳原メンによる YMCA 能登半島地震支援の状況報告がありました。

▲ YMCA の能登地震支援状況の報告(柳原メン)

YMCA 同盟と全国の YMCA が協働し、以下の活動を中心に展開しています。

- 1月9日から5回緊急街頭募金活動
 - 金沢市内の「1.5次避難所」の開設と運営支援
 - ① 1月8日から、内閣府と JVOAD(全国災害ボランティア支援団体ネットワーク)からの要請を受けてスタッフを派遣。
 - ② 内閣府からの再要請により引き続き支援を継続中。
 - ③ 中里氏ほかメンバーが長期滞在し、地元、他団体との信頼関係が出来ている。
 3. 東京 YMCA による輪島市の避難所運営支援
 4. 富山 YMCA による被災者支援活動
- ★詳細は、東京 YMCA 機関紙1, 2月号をご覧ください。

▲ 報告事項

1. 国際投票結果の報告
2. 第33回東京 YMCA チャリティーゴルフ大会
4月18日(木)PGM総成GC 申込：西本晃子メン
3. 今後の卓話予定
 - ① 3月21日(木)18:30～20:30東陽町センター
(3月20日(水)は祝日のため翌21日に変更)
「日本語体験発表会」(にほんご学院生徒による)
 - ② 4月17日(水)18:30～20:30東陽町センター
「昆虫の話」
千葉県少年自然の家 所長 佐藤 健氏

▲ 審議事項

1. 年会費改訂(年代別会費ランク制)の提案が柿沼メンからあり、今後多くのメンバーに意見を聴くことになりました。
 2. 4月15日～21日 Week 4 Waste(ワイズが呼びかける清掃活動)
 - ① 当クラブとしては、東京 YMCA「東陽町クリーンウォーク(地域清掃活動)」への参加とします。皆様のご都合に合わせてご参加ください。
 - ② 日程
 - ・毎月第二金曜日、雨天翌週火曜日
 - ・時間;12:45～13:30
 - ・具体的な日程例：

4月12日(金)	雨天の場合	4月16日(火)
5月10日(金)	同	5月14日(火)
6月14日(金)	同	6月18日(火)
- ★詳細：東京 YMCA ボランティア募集案内をご覧ください。

▲卓話報告

卓題：「ビートルズとブリティッシュ・インヴェージョン」

2003年10月の卓話「日本のポピュラー音楽史」につづき、音楽関係第二弾です。



【写真：熱弁の樋口メン】

1. 1964年(昭和39年)4月4日週米国ビルボード誌トップ5がいきなり全曲ビートルズとなりました。
2. その前後の英米の社会事情、音楽事情について
3. またその頃日本では東京オリンピック前夜、御三家(舟木、橋、三田)の気が高かった時代の洋楽チャートの状況など、興味ある資料をもとにわかりやすい説明でした。

▲ Happy Birthday!



【写真：左から柿沼、西本晃子、西本東司各メン】

◆6/8 (土) 神田川船の会 催行 (目黒)

- 6月8日(土)に恒例の神田川船の会(第89回)を催行いたします。
- 江戸時代末期から浅草橋で二百年続く老舗の船宿・三浦屋を出て ④神田川 ④日本橋川 ④隅田川 ④小名木川 ④隅田川 ④神田川は ④三浦屋(浅草橋)と巡る2時間です。
- スタッフ一同、江戸・東京の「移り行く歴史」と「水辺の環境」を思うひとときを皆様とご一緒したいと思っております。詳細は後報します。



【写真:日本橋川の常盤橋*を通過しながら(上流から下流側の)常盤橋**を望む】—1877年(明治10)に木橋から架け替えられた“都内最古の石橋”常盤橋を潜る一瞬!—
〈備考〉*「磐」の下が石。初代は1590年(天正18年、家康が江戸入府の年)に架橋。**「盤」の下が皿。1926年(昭和元年)関東大震災の復興橋として架橋されました。(目黒記)

◆今後の主なスケジュール

- 1) 3月23日(土) 関東東部 Ys/Y 協議会19:00~
- 2) 4月6日(土) 関東東部「EMCを考える集い」14~
- 3) 4月10日(水) 4月第二例会(Zoom)15:00~
- 4) 4月17日(水) 4月第一例会(東陽町)18:30~
- 5) 4月18日(木) 第33回チャリティーゴルフ大会
- 6) 4月29日(月) 「高石ともやバングラディッシュ支援チャリティーコンサート」(浅草教会)
- 7) 5月8日(水) 5月第二例会(Zoom)15:00~
- 8) 5月15日(水) 5月例会(東陽町)18:30~
- 9) 5月18日(土) 関東東部第3回評議会
- 10) 5月25日(土) 在京ワイズ会長会(山手セ)AM
- 11) 同 関東東部 Ys/Y 協議会19:00~
- 12) 6月1日(土) 第27回東日本区大会(十勝)
- 13) 6月8日(土) 第89回神田川船の会(浅草橋)
- 14) 6月12日(水) 6月第二例会(Zoom)15:00~
- 15) 6月19日(水) 6月例会(東陽町)18:30~

◆2024年3月第2例会(役員会)

日時:2024年3月13日(水) 15:00~16:30 Zoom

1. 3月例会打合せ
2. 3月9日(土)~10日(日) 東日本区次期クラブ 会長・部役員研修会(東山荘)の報告
3. 神田川船の会催行準備関係
4. 各スケジュールへの出席確認
5. その他 (樋口 記)

◆にほんご学院スピーチコンテスト出席報告

日時:2024年2月14日(水)10:00~13:00

場所:場所:社会体育保育専門学校2F(東陽町)

後援:東京クラブ、世田谷クラブ



- 1) にほんご学院留学生は3月で授業終了になるにあたり、上・中・初中級各クラスの代表者計13名(中国、韓国、台湾、インド、ミャンマー、フィリピン)、により5分/名程度の恒例のスピーチコンテストが行われました。会場にはクラス全員が詰めかけ、スピーカーを応援しました。
- 2) スピーカーは、日本での体験を通じて感じたことを、自分の人生にプラスにしようと、前向きに取り組むひたむきさがうかがえて、たいへん勉強になりました。
- 3) 「よその土地」で言葉と習慣の違いに戸惑うことは、人類共通の経験ではないでしょうか。
私も海外でいろいろな体験をしました。しかし留学生の皆さんの、日本でのいやな経験を聴くと、それらがわれわれ日本人にとってはまったく無意識にとった言動であることが多いことに気づかされます。日本人としてすぐに直さねばならないことが少なくないと強く思いました。
- 4) にほんご学院で学んでできた「友人」は、かけがえのない心の財産です。ぜひ一生大切にしたいものです。(樋口 記)

フィンランドの春の気配
シベリウス「交響曲第5番」



ジャン・シベリウス作曲(1865～1957)
交響曲第5番変ホ長調 Op.82(1919)
指揮:サー・ジョン・バルビローリ(1899～1970)
ハレ管弦楽団(1966年録音)

フィンランドの作曲家シベリウスは、「フィンランディア」のほか、伝説や民話を題材にした作品を数多く残しました。交響曲第5番は壮年期54歳のときにつくられた最も幸せに満ちた作品だといわれています。

作曲当時(1919年)のフィンランドは、ロシア革命の直後1917年に独立を果たし、シベリウス自身も喉の病気が治り、気分が乗り、充実した時期だったようです。

第1楽章は、ホルン4本による呼びかけに答える木管楽器は対話のようです。フィンランドの美しい自然を連想させる幻想の世界です。

つづいて第2楽章の朴訥とした民謡風のメロディーは古ぼけた民家で語られる民話のようです。

そして聴きどころは第3楽章。ざわざわとした風の音から徐々に表れる雄大な自然が、3拍子のホルンにより朗々と謳われます。この曲想のイメージは、作曲家本人が1915年4月、散歩の途中で16羽の白鳥が旋回して銀色のリボンのように飛んで行った姿をみて、近づいてくる春の気配のインスピレーションを得たのだそうです。なんの憂いもなく飛び交う白鳥に自分の分身を見たのでしょうか。そしてフィニッシュはちょっと変わっています。最終のジャン！を6回繰返して終わります。まるで空間の余韻を楽しむかのようです。

推奨CDは、北欧音楽を得意としていた英国の巨匠ジョン・バルビローリ指揮、ハレ管弦楽団(マンチェスター)の心温まる爽やかな演奏です。(樋口 記)

1. 輪島市より要請を受け、能登半島地震の復興支援として、東京YMCAは1月25日より輪島市町野町にある避難所(町野小学校・東陽中学校)の運営サポートを行っている。

常駐スタッフ1名の他、約1週間交替でスタッフ2名ずつを派遣し、避難所の受付業務をはじめ、被災者の避難所生活をサポートする様々な業務にあたりつづけている。当初2月末までを予定していたが、再要請を受けて3月末まで延長することになった。

2. 「能登半島地震緊急支援募金」は2月20日現在、6,528,388円が寄せられている。また、都内の各地域でこれまでに8回の街頭募金を実施され、計830,935円が集まった。

これまでに募金を用いて電子レンジ、電気ポット、トースター、掃除機、清掃用品、スリッパ、下着などの支援物資を避難所に届けた他、募金は全国のYMCAが協力して展開する支援活動のために引き続き用いていく。

3. 2月4日、「山中湖センター100周年記念チャリティーボウリング大会」が、ボウリングサロン・ザプリンスパークタワー東京で開催され、午前の部、午後の部、合わせて21チーム、70名の参加があった。

益金は、山中湖センター100周年募金として用いる。なお、山中湖センター100周年募金は3月末を期限に受付を継続している。

4. 2月17日、会員部主催による「ソシアスフォーラム2023」が佐渡加奈子氏(認定NPO法人カタリバアダチベース拠点責任者/東京YMCA評議員)を講師に、山手センター及びオンラインで開催。100名を越える参加があった。

「今を生きる子ども、若者たち」をテーマに、困難を抱える10代の子どもの事例やカタリバの取り組みが紹介され、またYMCAとして何ができるのかを考える機会になった。

5. 今後の主な行事予定

- 1) 「職員就業礼拝」4月1日(オンライン)
説教:古賀博牧師(日本基督教団早稲田教会)
- 2) 「ウクライナ支援報告会」4月16日(オンライン)
- 3) 「第33回チャリティーゴルフ大会」4月18日
(PGM総成ゴルフクラブ)
- 4) 「東日本地区YMCA役員研修会」4月27日
(オンライン)
- 5) 「高石ともや バングラディッシュ支援チャリティーコンサート」4月29日 (日本基督教団浅草教会)
- 6) 「第21回会員大会」5月25日(山手センター)
(クラブ担当主事:柳原 記)